

# 大阪市立大学 医学部看護学科・看護学研究科 現状と自己分析

2012/07/24@杉本キャンパス

新大学構想会議ヒアリング

作成：看護学研究科法人統合検討委員会

# Contents

1. 本研究科の特徴とこれまでの改革の流れ
2. データの分析見解
  - －他大学と比較した分野的特徴を含む
3. 主な産学官連携の取り組みと成果
4. 今後の展開と課題

# 沿革

- S24 大阪市立医科大学厚生学院設立
- S30 大阪市立大学医学部附属厚生学院に改称
- S52 大阪市立大学医学部附属看護専門学校に改称
- H10 大阪市立大学看護短期大学部設置
- H12 大阪市立大学医学部附属看護専門学校閉校
- H16 大阪市立大学医学部看護学科設置
- H19 大阪市立大学看護短期大学部閉学
- H20 大阪市立大学大学院看護学研究科修士課程設置
- H22 大阪市立大学大学院看護学研究科後期博士課程設置
- H24 大阪市立大学大学院看護学研究科後期博士課程完成

# 理念と教育目的

## ➤ 理念

都市・大阪の特色をふまえ、本学看護学教育の伝統である「変わらざる“慈愛の光”ともし継ぎて」の精神のもと、実践知に基づく看護学の学問体系を構築し、看護の質的向上のための組織的な指導ができる、研究・教育者ならびに実践者を育成し、地域・国際社会に貢献する。

## ➤ 教育目的

- **学士**：豊かな人間性と社会のニーズの変化に対応できる看護実践能力をもち、リーダーシップのとれる看護職者
- **修士**：看護学の研究・教育に必要な基礎的能力をもつ研究・教育者  
専門性の高い看護実践能力をもつ実践者
- **博士**：看護学の学問体系に寄与できる研究・教育者  
看護の質的向上を目指し組織的な指導ができる実践者

# 専門教育科目・分野・領域の構成

学士 (22)		前期博士 (17)		後期博士 (16)(うち申請中2)	
	専門科目	分野	研究領域	分野	研究領域
看護学	基礎看護学 (2)	生活看護学	基礎看護学 (1)	生活看護支援システム	基礎 (1)申請中
	地域看護学 (2)		地域看護学 (1)		地域 (2)
	老年看護学 (2)		老年看護学 (2)		老年 (2)
	在宅看護学 (2)		在宅看護学 (2)		在宅 (1)
	精神看護学 (2)	臨床看護学	精神看護学 (1)	看護支援システム	精神 (1)
	母性看護学 (2)		母性看護学 (2)		母性 (2)
	小児看護学 (2)		成育看護学 (1)		成育 (1)
	成人看護学 (4)		急性看護学 (1)		急性 (1)申請中
		感染・慢性看護学 (2)	感染看護支援 (2)		
看護基礎科学 (4)	看護基礎科学(4)		看護支援基礎科学 (3)		

( )内数はH24/04/01現在の特別研究指導あるいは科目担当の常勤教員数を示す。  
担当常勤教員は、学士・修士・博士を兼任。

# 本研究科の教育基礎情報

	学 士		前期博士		後期博士	
入試区分毎の 入学定員 <sup>1)</sup>	一般入試(前期)	40名	一般入試 <sup>4)</sup>	10名	一般入試 <sup>4)</sup>	3名
	学士・社会人入試 <sup>2)</sup>	5名				
	推薦入試 <sup>3)</sup>	10名				
入学定員 <sup>1)</sup>	55名		10名		3名	
全学年定員 <sup>1)</sup>	220名		20名		9名	
学位	看護学学士 <sup>5)</sup>		看護学修士 <sup>6)</sup>		看護学博士	
卒業修了要件	基礎科目	24単位 (420時間)	特論等	18単位 (270時間)	特講等	4単位 (60時間)
	専門・専門基礎 科目講義演習	78単位科 (1605時間)	演習	4単位 (120時間)	演習	2単位 (60時間)
	専門科目実習	23単位 (1035時間)	特別研究	8単位 (240時間)	特別研究	8単位 (240時間)
卒業修了要件単位数 (標準的時間数)	125単位 (3060時間)		30単位 (720時間)		14単位 (360時間)	

1)平成25年度入試 2)センター試験なし 3)センター試験あり;「地域枠」あり

4)社会人特別選抜含む 5)保健師教育課程選択者は135単位必要

6)老年看護専門看護師教育課程選択者は34単位必要

# 教員の背景

		教授 名	准教授 名	講師 名	特任教員 名	計 名(%)
教員数		11	4	7	3	25 (100)
博士取得者		10	3	2	0	15 (60)
看護系学位 <sup>1)</sup>		5	2	1	0	8 (32)
教員審査D <sup>㊦</sup>		8(他、審査中2名)		1	0	9 (36)
看護職		9	3	6	3	21 (84)
年 代	30歳ー	0	0	0	1	1(4)
	40歳ー	4	1	7	0	12(48)
	50歳ー	3	1	0	2	6(24)
	60歳ー	4	2	0	0	6(24)
性別:女性		10	3	7	3	23 (92)
在 職 期 間	1年未満	1	0	2	2	5 (20)
	1年以上3年未満	2	1	1	1	5 (20)
	3年以上5年未満	3	0	1	0	4 (16)
	5年以上	5	3	3	0	11 (44)

H24/04/01現在

1) 看護学博士または保健学博士取得者数を示す。

# これまでの人事・組織改革の流れ

年度	組織改革事項	退職 <sup>1)</sup>	入職 <sup>1)</sup>	入試改革:学士	カリキュラム改正:学士
H16	医学部看護学科設置	3名	0名		
H17		1名	0名		
H18		2名	3名		
H19	大学院 修士課程設置申請	8名	6名	一般入試(後期)募集停止 推薦入試変更 -募集人員増 5→10名 -地域枠の新設 -選抜方法変更	
H20	修士課程設置	1名	2名		
H21	大学院 後期博士課程設置申請	2名	2名		看護実践能力強化を目的に改正
H22	後期博士課程設置 前期博士課程に変更	3名	3名		
H23		3名	4名		
H24	後期博士課程完成年	3名	3名	編入学募集人員減	保健師実践能力強化を目的に改正
H25		—	—	編入学募集停止(申請予定) 学士・社会人入試の新設 一般入試(前期) -募集人員増 30→40名	
		26名	23名		

1)該当年度の常勤教員の入・退職数を示す。



# 入学定員と教員数の変化

名

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
入学定員数												
看護短期大学部		80	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一般入試	前期日程	—	35	30	30	30	30	30	30	30	30	40
	後期日程	—	0	5	5	5	—	—	—	—	—	—
	推薦	—	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10
	学士社会人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
2年次編入		—	—	10	10	10	10	10	10	10	5	—
3年次編入		—	—	—	20	20	20	20	20	20	7	—
前期博士課程		—	—	—	—	—	10	10	10	10	10	10
後期博士課程		—	—	—	—	—	—	—	3	3	3	3
在籍学生数		242	204	178	158	230	249	268	272	272	250	—
教員数(総計)		25	22	23	24	24	25	25	25	25	25	—
常勤教員		25	22	21	22	20	21	21	21	22	22	—
特任教員		0	0	2	2	4	4	4	4	3	3	—

各年度5月1日現在

看護学科  
設置

修士課程  
設置

博士課程  
設置

# 本研究科の特徴とこれまでの改革の流れ

## ➤ 本研究科の特徴

- 60年以上の看護教育の伝統と最近10年間で大学教育化
- 授業時間数のうち34%の時間数は少人数による臨地実習時間

## ➤ 学科・大学院設置と教員体制

- H16年看護学科、H20年修士(前期博士)課程、H22年後期博士課程を在校生の卒業修了年次に併せて、設置
- 設置に適切な教員組織(文科省の教員審査)に改革
- 学科、大学院設置と大学の教員数20%削減(常勤教員 H14:26名→H20:21名)期間が重複し、教育の質の担保に苦慮

## ➤ 学士課程の入試改革やカリキュラム改革

- 推薦入試変更 学力が高い市内の受験生の確保
- 2年次編入生廃止 順序性の高い教育カリキュラムの構築
- 3年次編入生廃止 看護学校新卒者が多く本来のリカレントの意義低下
- 1年次入学生増員 学士力を重視した看護職の養成
- 学士・社会人選抜の導入 多様なバックグラウンドを持つ入学者の確保
- カリキュラム改革 保助看指定規則の一部改正により実施

# Contents

1. 本研究科の特徴とこれまでの改革の流れ
2. データの分析見解
  - －他大学と比較した分野的特徴を含む
3. 主な産学官連携の取り組みと成果
4. 今後の展開と課題

# 看護系大学の動向

## 全国と近畿圏 看護系大学設置数の推移

		H2	H5	H8	H11	H14	H17	H20	H23
全国	学士課程	9	19	44	72	96	128	168	200
	修士課程	5	7	8	31	53	81	107	132
	博士課程	3	4	7	9	16	32	47	61
近畿	学士課程	0	1	6	6	7	14	26	33
	修士課程	0	0	0	5	6	6	12	14
	博士課程	0	0	0	1	4	4	5	7

出典：看護学校便覧(2011)より作成。

近畿は大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県とする。

# 大阪府内 看護系大学設置状況

区	大学名 学部学科	開設	学士 定員 (名)	修士 定員 (名)	博士 定員 (名)	保健 師	助産 師	専門 看護師	教員 (名)	看護 教員 (名)	博士 取得 (率)	学生 1) (名)	偏差 値2)
国	大阪大学医学系研究科 保健学専攻統合看護科学	H6	80	(65)	(23)	○	○	○	33	28	55%	10.3	62
公	大阪府立大学 地域保健学域 看護学類	H6	120	26	5	○	○	○	58	56	40%	8.8	55
公	大阪市立大学 医学部看護学科	H16	55 <sup>3)</sup>	10	3	○	×	○	21 <sup>3)</sup>	18	68%	10.5	57
私	藍野大学 医療保健学部看護学科	H16	80	—	—	○	×	—	31	24	—	10.6	46
私	大成学院大学 看護学部看護学科	H19	80	—	—	○	×	—	23	16	—	13.9	44
私	千里金蘭大学 看護学部看護学科	H20	80	—	—	○	○	—	33	30	—	9.7	50
私	関西医療大学 保健看護学部保健看護学科	H21	80	—	—	○	×	—	29	26	—	—	48
私	大阪医科大学 看護学部看護学科	H22	85	—	—	○	○	—	32	27	—	—	54
私	宝塚大学看護学部看護学科	H22	100	—	—	○	×	—	18	16	—	—	46
私	梅花女子大学 看護学部看護学科	H22	65	—	—	○	×	—	34	31	—	—	51
私	森ノ宮医療大学 保健医療学部看護学科	H23	80	—	—	○	×	—	15	15	—	—	46
私	摂南大学看護学部看護学科	H24	100	—	—	×	○	—	31	29	—	—	53
総定員数			1005	36	8	—	—	—	358	316	—	—	—

# 教育実績:学士

## 比較対照

- 大阪市立大学 医学部 看護学科
- 大阪府立大学 地域保健学域 看護学類
- 大阪大学 医学部 保健学科 看護学専攻

# 入試倍率(一般入試:前期) 学士

年度	大阪市立大学				大阪府立大学				大阪大学			
	受験者 (名)	合格者 (名)	実質 倍率 (倍)	入学 者 (名)	受験者 (名)	合格者 (名)	実質 倍率 (倍)	入学 者 (名)	受験者 (名)	合格者 (名)	実質 倍率 (倍)	入学 者 (名)
H16	144	36	4.0	35	113	50	2.3	50	102	66	1.5	62
H17	70	31	2.3	29	137	50	2.7	45	119	66	1.8	63
H18	102	35	2.9	33	106	50	2.1	49	99	66	1.5	65
H19	126	35	3.6	32	104	50	2.1	49	94	75	1.3	73
H20	115	35	3.3	34	95	50	1.9	47	136	73	1.9	71
H21	84	33	2.5	32	111	50	2.2	49	112	74	1.5	73
H22	104	33	3.2	31	79	51	1.5	45	147	74	2.0	72
H23	115	31	3.7	31	143	53	2.7	51	134	76	1.8	73
H24	157	33	4.8	33	115	53	2.2	53	140	75	1.9	71
平均	113.0	33.7	3.4	32.2	111.4	50.8	2.2	48.7	120.3	71.6	1.7	69.2



# 退学者・除籍者の推移 学士課程

上段:名  
下段:(%)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	平均
大阪市立大学	0 (0.0)	3 (1.8)	3 (1.8)	2 (1.3)	3 (1.8)	2 (1.3)	1 (0.6)	3 (1.8)	2.1 (1.3)
大阪府立大学	0 (0.0)	1 (0.2)	2 (0.4)	1 (0.2)	6 (1.3)	3 (0.6)	0 (0.0)	2 (0.4)	1.9 (0.4)
大阪大学	5 (1.6)	5 (1.6)	8 (2.5)	2 (0.6)	4 (1.3)	3 (0.9)	2 (0.6)	4 (1.3)	4.1 (1.3)

各年度始4月1日～各年度末3月末日までに発生した退学者・除籍者数を示す。  
なお、2年次編入・3年次編入生は除く。

( )内割合はH24/04/01時点1年次入学生定員数×4年分で割った数値を示す。

分母→市大:40名×4年=160名

府大:120名×4年=480名

阪大:80名×4年=320名

# 入学生出身高校所在地と卒業生就職地域 学士

上段:名  
下段:(%)

年度	大阪市立大学					大阪府立大学					大阪大学				
	市内 1)	府内 2)	近畿 3)	他	計	市内	府内 1)	近畿 2)	他	計	市内	府内 1)	近畿 2)	他	計
入学生(H18年度・H19年度・H20年度入学生)の出身高校所在地															
H18	13 (30)	15 (35)	12 (28)	3 (7)	43 (100)	府内に 含む	68 (59)	25 (22)	22 (19)	115 (100)	14 (17)	7 (9)	20 (24)	41 (50)	82 (100)
H19	14 (34)	9 (22)	10 (24)	8 (20)	41 (100)	府内に 含む	54 (49)	29 (26)	27 (25)	110 (100)	7 (8)	14 (17)	25 (29)	39 (46)	85 (100)
H20	10 (22)	15 (33)	15 (33)	6 (13)	46 (100)	府内に 含む	59 (54)	29 (26)	22 (20)	110 (100)	10 (12)	13 (16)	20 (24)	40 (48)	83 (100)
計	37 (29)	39 (30)	37 (29)	17 (13)	130 (100)	府内に 含む	181 (54)	83 (25)	71 (21)	335 (100)	31 (12)	34 (14)	65 (26)	120 (48)	250 (100)
卒業生(H21年度・H22年度・H23年度卒業生)の卒業生就職地域															
H21	33 (81)	6 (15)	2 (5)	0 (0)	41 (100)	59 (42)	34 (24)	30 (22)	16 (12)	139 (100)	18 (27)	24 (35)	8 (12)	18 (27)	68 (100)
H22	17 (50)	11 (32)	3 (9)	3 (9)	34 (100)	50 (47)	38 (36)	9 (8)	10 (9)	107 (100)	11 (16)	31 (46)	8 (12)	18 (27)	68 (100)
H23	25 (66)	3 (8)	9 (24)	1 (3)	38 (100)	52 (44)	33 (28)	21 (18)	11 (9)	117 (100)	22 (30)	35 (48)	8 (11)	8 (11)	73 (100)
計	75 (66)	20 (18)	14 (12)	4 (4)	113 (100)	161 (44)	105 (29)	60 (17)	37 (10)	363 (100)	51 (24)	90 (43)	24 (11)	44 (21)	209 (100)

1)大阪市内 2)府内:大阪市内を除く。3)近畿:大阪府内を除く。

卒業生就職地域のデータ:大阪市大・大阪大学→編入生を含まず。大阪府大→編入生を含む。

# 卒業生進路 学士

上段:名  
下段:(%)

年度	大阪市立大学					大阪府立大学					大阪大学				
	看護師	保健師	進学	他	計	看護師	保健師	進学	他	計	看護師	保健師	進学	他	計
H19	43 (68)	10 (16)	7 (11)	3 (5)	63 (100)	97 (78)	13 (10)	2 (2)	12 (10)	124 (100)	56 (66)	8 (9)	6 (7)	15 (18)	85 (100)
H20	45 (74)	8 (13)	8 (13)	0 (0)	61 (100)	88 (68)	14 (11)	10 (8)	17 (13)	129 (100)	50 (55)	10 (11)	13 (14)	18 (20)	91 (100)
H21	53 (74)	14 (19)	3 (4)	2 (3)	72 (100)	101 (69)	17 (12)	3 (2)	25 (17)	146 (100)	56 (66)	6 (7)	10 (12)	13 (15)	85 (100)
H22	48 (79)	8 (13)	5 (8)	0 (0)	61 (100)	91 (81)	7 (6)	2 (2)	13 (12)	113 (100)	51 (53)	12 (13)	13 (14)	20 (21)	96 (100)
H23	47 (64)	13 (18)	11 (15)	2 (3)	73 (100)	102 (83)	4 (3)	1 (1)	16 (13)	123 (100)	60 (66)	8 (9)	8 (9)	15 (16)	91 (100)
計	236 (72)	53 (16)	34 (10)	7 (2)	330 (100)	479 (75)	55 (9)	18 (3)	83 (13)	635 (100)	273 (61)	44 (10)	50 (11)	81 (18)	448 (100)

上記、数値は1年次入学生、2・3年次編入生の数字を含む。

## 国家試験合格率（1年次入学生と編入生含む）

%

年度	大阪市立大学		大阪府立大学		大阪大学		全国1)	
	看護師	保健師	看護師	保健師	看護師	保健師	看護師	保健師
H19	100.0	100.0	98.1	95.9	98.7	98.8	97.5	91.9
H20	100.0	100.0	97.3	100.0	92.4	95.6	97.5	98.5
H21	100.0	95.9	100.0	91.7	98.7	95.1	97.9	87.9
H22	100.0	96.9	98.2	93.6	98.8	96.7	98.3	89.8
H23	100.0	98.6	99.2	94.3	100.0	100.0	97.3	89.7
平均	100.0	98.3	98.6	95.1	97.7	97.2	97.7	91.6

上記、数字は新卒者の国家試験合格率を示す。

1) 厚生労働省医政局看護課資料より作成。大学新卒者の合格率を示す。

# 教育実績:大学院

## 比較対照

- 大阪市立大学大学院看護学研究科
- 大阪府立大学大学院看護学研究科
- 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻統合保健看護科学分野

# 入試倍率 前期博士

年度	大阪市立大学				大阪府立大学				大阪大学			
	受験者 (名)	合格者 (名)	実質 倍率 (倍)	入学 者 (名)	受験者 (名)	合格者 (名)	実質 倍率 (倍)	入学 者 (名)	受験者 (名)	合格者 (名)	実質 倍率 (倍)	入学 者 (名)
H20	15	13	1.2	11	38	28	1.4	28	28	26	1.1	21
H21	16	15	1.1	12	53	31	1.7	28	43	33	1.3	31
H22	22	13	1.7	13	38	30	1.3	27	41	26	1.6	24
H23	10	9	1.1	8	39	29	1.3	25	46	27	1.7	25
H24	20	11	1.8	8	29	25	1.2	24	38	27	1.4	24
平均	16.6	12.2	1.4	10.4	39.4	28.6	1.4	26.4	39	28	1.4	25

# 修了生就職地域と進路 前期博士

上段:名  
下段:(%)

年度	大阪市立大学					大阪府立大学					大阪大学				
	市内	府内 1)	近畿 2)	他	計	市内	府内 1)	近畿 2)	他	計	市内	府内 1)	近畿 2)	他	計
H21	2 (25)	1 (13)	5 (63)	0 (0)	8 (100)	6 (21)	7 (25)	10 (36)	5 (18)	28 (100)	1 (8)	5 (38)	4 (31)	3 (23)	13 (100)
H22	5 (50)	1 (10)	3 (30)	1 (10)	10 (100)	2 (8)	16 (64)	7 (28)	0 (0)	25 (100)	4 (18)	7 (32)	6 (27)	5 (23)	22 (100)
H23	3 (50)	2 (33)	1 (17)	0 (0)	6 (100)	4 (15)	14 (52)	5 (19)	4 (15)	27 (100)	3 (16)	6 (32)	6 (32)	4 (21)	19 (100)
計	10 (42)	4 (17)	9 (38)	1 (4)	24 (100)	12 (15)	37 (46)	22 (28)	9 (11)	80 (100)	8 (15)	18 (33)	16 (30)	12 (22)	54 (100)

	病院	進学	教員	他	計	病院	進学	教員	他	計	病院	進学	教員	他	計
H21	5 (56)	1 (11)	1 (11)	2 (22)	9 (100)	17 (59)	1 (3)	5 (17)	6 (21)	29 (100)	5 (25)	7 (35)	2 (10)	6 (30)	20 (100)
H22	3 (27)	1 (9)	7 (64)	0 (0)	11 (100)	17 (63)	2 (7)	4 (15)	4 (15)	27 (100)	11 (37)	5 (17)	6 (20)	8 (27)	30 (100)
H23	3 (38)	2 (25)	2 (25)	1 (13)	8 (100)	16 (59)	0 (0)	3 (11)	8 (30)	27 (100)	10 (45)	2 (9)	4 (18)	6 (27)	22 (100)
計	11 (39)	4 (14)	10 (36)	3 (11)	28 (100)	50 (60)	3 (4)	12 (14)	18 (22)	83 (100)	26 (36)	14 (19)	12 (17)	20 (28)	72 (100)

1) 府内:市部を除く 2)近畿:府内を除く

# 入試倍率 後期博士

年度	大阪市立大学				大阪府立大学				大阪大学			
	受験者 (名)	合格者 (名)	実質 倍率 (倍)	入学 者 (名)	受験者 (名)	合格者 (名)	実質 倍率 (倍)	入学 者 (名)	受験者 (名)	合格者 (名)	実質 倍率 (倍)	入学 者 (名)
H20	—	—	—	—	10	7	1.4	7	23	14	1.6	13
H21	—	—	—	—	10	8	1.3	8	19	18	1.1	18
H22	5	5	1	5	7	5	1.4	5	26	17	1.5	16
H23	3	3	1	3	10	7	1.4	6	22	15	1.5	15
H24	6	4	1.5	4	5	4	1.3	4	15	11	1.4	11
平均	4.7	4.0	1.2	4.0	8.4	6.2	1.4	6.0	21.0	15.0	1.4	15.0



# 研究実績

# 外部資金獲得

年度	大阪市立大学				大阪府立大学				大阪大学			
	代表件	分担件	合計件	金額万円	代表件	分担件	合計件	金額万円	代表件	分担件	合計件	金額万円
文部科学研究費(直接経費+間接経費)												
H21	10	3	13	1,567	27	9	36	4,984	17	10	27	4,164
H22	11	4	15	1,710	22	15	37	4,488	28	9	37	5,602
H23	11	2	13	2,349	26	23	49	4,059	28	14	42	6,257
厚生科学研究費												
H21	0	2	2	115	1	0	1	1,008	1	3	4	1,920
H22	0	1	1	75	0	0	0	0	0	5	5	610
H23	0	1	1	60	1	0	1	100	0	7	7	590
総計	32	13	45	5,876	77	47	124	14,639	74	48	122	19,143
平均 <sup>1)</sup>	—	—	—	267	—	—	—	252	—	—	—	580
企業・財団等からの助成												
H21	—	—	1	40	—	—	6	500	—	—	12	1,037
H22	—	—	3	392	—	—	8	383	—	—	11	880
H23	—	—	1	290	—	—	12	713	—	—	11	980

1)3年間の総金額/常勤教員数@H24/04/01 分母→市大:22名 府大:58名 阪大:33名

# 主な研究テーマ(研究費あり)

## ➤ 高齢者支援

地域要支援高齢者への予防訪問の効果評価  
地域高齢者見守りに対する地域住民への教育啓発  
障害高齢者のシーティング(座位保持)ガイドライン

## ➤ 母子支援

児童虐待予防のための親子講座  
多胎児の発育・発達  
小児の愛着障害への治療的介入

## ➤ 患者支援

結核患者の治療継続のための教育  
薬物依存症患者への看護

# データの分析見解

## ➤ 看護界での位置づけ

20年間に看護系大学は22倍に急増。近畿圏33大学中、博士課程は7校のみ。  
看護系博士取得者を近畿圏に輩出する社会的使命あり

## ➤ 教育実績 学士課程

- 府下国公立大学で入試倍率や国家試験合格率は最も高い
- 卒業生の88%が看護職として就職し、看護職を着実に輩出
- 卒業生の66%が大阪市内に就職し、大阪市内への人材供給に貢献

## ➤ 教育実績 前期・後期博士課程

- 受験者数は定員を上回り、他学と同等の入試倍率を維持
- 前期博士課程修了者は、進学や教員になる率が高い

## ➤ 研究実績

- 教員の科研費獲得は、強化の必要性あり
- 大部分の研究テーマは地域貢献や都市問題に直接関連する実践的内容

# Contents

1. 本研究科の特徴とこれまでの改革の流れ
2. データの分析見解
  - －他大学と比較した分野的特徴を含む
3. 主な産学官連携の取り組みと成果
4. 今後の展開と課題

# 自治体（大阪市や他市町）との連携活動

自治体	活動名	概要
大阪市	大阪市新人保健師・中堅保健師研修会	保健師への研修を年4回実施しスキル向上あり
大阪市福島区	ハッピーママ応援事業	母子保健の講演を行い住民の自主活動に発展
大阪市西成区	西成区におけるハイリスク妊婦の実態調査	ハイリスク妊婦の実態を調べ保健施策に活用
大阪市複数区	双子・三つ子のプレパパ・プレママ教室	大阪市の多胎児妊娠中の妊婦・夫対象に年間4～5回両親学級を開催
泉南市、岬町、泉大津市他	要支援高齢者への予防訪問の効果評価	地域包括支援センターから高齢者に訪問。一部の市では事業化。看護科学学会でプレス公開
松原市、大東市、横浜市他	大都市の地域住民による高齢者見守り活動支援	見守り活動にアドバイザーとして実践、研修会は延23回、一部の市では地域福祉計画に反映
西宮市	児童虐待予防のシステム開発	フィンランド国立保健研究所とデータ比較。育児環境に関する基礎データ作成し、施策に活用
西宮市	乳幼児健康診査と虐待管理台帳のデータ解析	児童虐待の発生状況と関連要因を分析し、施策に活用

## 企業との連携活動

企業名	活動名	研究概要
中外製薬株式会社	大阪がん化学療法コンソーシアム	がん化学療法中の患者をサポートする医療職への講演会企画（毎回100名参加）や啓蒙活動実施

# 行政機関、看護協会等への兼職承認数

		大阪市	大阪府	国	府下 市町村	他府県	府・日本 看護協会	市町村 社会福祉 協議会	計
H19	件数	12	2	8	2	6	14	1	45
	人員	8	1	7	1	2	9	1	29
H20	件数	14	2	5	2	3	24	2	52
	人員	6	2	3	2	3	11	1	28
H21	件数	8	0	7	4	15	20	4	58
	人員	5	0	7	3	5	9	1	30
H22	件数	8	2	9	3	2	30	3	57
	人員	5	1	6	3	2	9	2	28
H23	件数	3	3	5	11	12	22	5	61
	人員	3	2	5	4	7	5	2	28
計	件数	45	9	34	22	38	110	15	273
	人員	27	6	28	13	19	43	7	143

# 地域貢献 例

## ➤ 看護学研究科公開講座

毎年3月に看護学研究科で市民対象に公開講座開催(平均参加者 約130名)

## ➤ 行政への貢献

大阪府介護保険審査会・訪問看護推進事業協議会委員

岬町介護保険運営協議会委員長

泉南市地域福祉計画・活動計画策定委員会委員長

泉大津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員

河南町等合議体介護認定審査会委員

## ➤ 学校・NPO等への貢献

「生命/身体とこころ/対人関係のなりたちを知る教室」を近畿圏高校で出前講座

発達障害や愛着障害をもつ子どもと家族への療育・育児支援事業

拘置所に収監中の薬物依存症者への回復支援

回復者主導型薬物依存症回復支援施設(大阪ダルク)の運営支援

## ➤ 大阪府(他府県)看護協会、日本看護協会等への貢献

大阪府看護協会 看護師職能委員 地域ケア質向上委員 地域福祉理事

大阪・石川・滋賀・奈良・京都・府県看護協会 等で多数講師や研修開催

日本看護協会 認定看護師教育 学会委員 など



## 主な産学官連携の取り組みと成果

- 大阪および近隣の都市自治体にて保健医療福祉施策に資する活動を展開
- 企業との連携活動は少ない
- 多くの教員が自治体、学校、看護協会等にて、研修や委員等を務める
  - 看護の質向上や看護職の現任教育等に貢献

# Contents

1. 本研究科の特徴とこれまでの改革の流れ
2. データの分析見解
  - －他大学と比較した分野的特徴を含む
3. 主な産学官連携の取り組みと成果
4. 今後の展開と課題

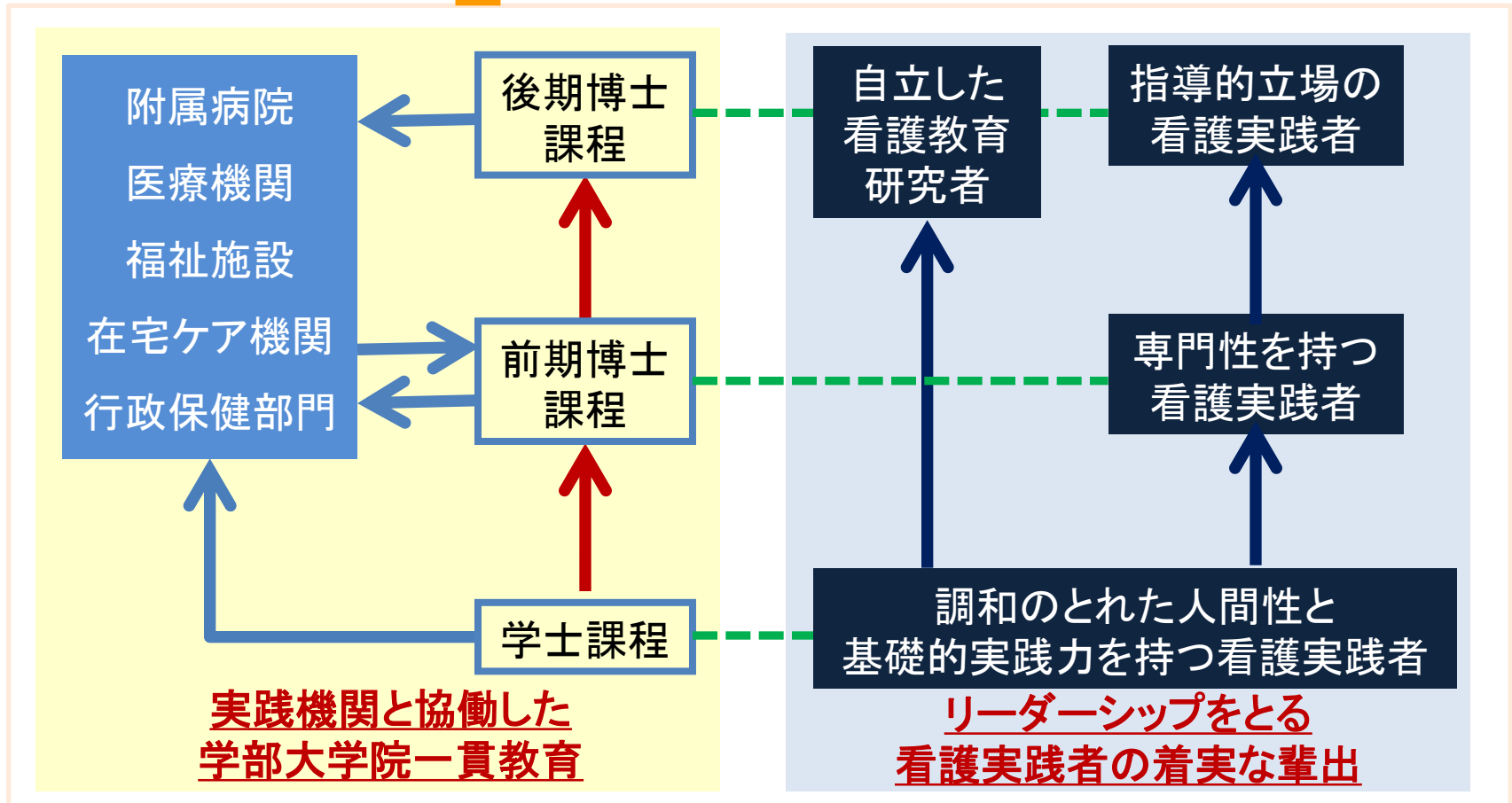
# 看護実践者・看護教育研究者の育成

[本研究科の人材育成方針]

質の高いケアを提供する看護職  
看護実践研究を志向する教育研究者

[市民・府民への効果]

安心できる保健医療ケアを受けられる  
大学における良質な看護教育の受益



# 都市型看護実践研究の推進

## [本研究科の研究推進方針]

看護実践応用性が高い研究  
都市健康問題の予防やケアに資する研究

## [市民・府民への効果]

都市の保健医療施策の根拠に活用  
都市健康問題の予防と改善

## 都市型看護実践研究 の推進

高齢者の自立支援と介護予防・地域見守り  
結核治療支援、薬物依存者の看護、母子虐待予防

## [本研究科の強み]

都市中心部に所在  
利便性が高く、人を集めやすい  
附属病院等と連携  
保健医療福祉行政と連携  
地域密着型の活動が展開  
総合大学であり他分野と連携

## [都市健康問題の特徴]

超高齢化→要介護状態や認知症、老々介護  
孤独→閉じこもり、自殺、薬物や飲酒依存  
貧困→感染症、野宿者、不衛生  
人間関係の希薄化→DV、虐待、介護放棄  
単身者の増加→孤独死、病気障害の重度化  
生活の不規則→生活習慣病  
競争社会→仕事依存、PTSD、発達障害

## 今後の展開と課題

- 研究科ぐるみの特徴的な取組みや大学院の機能強化に課題あり
  - ー脆弱な教員体制
  - ー学部・大学院課程設置に尽力してきた経緯
- 立地や附属病院等との連携体制の好条件を生かした活動の推進
  - ーリーダーシップをとる看護実践者を着実に輩出
  - ー附属病院や実践機関と協働した学部大学院一貫教育
  - ー都市型看護実践研究の推進

# まとめ

## ➤ 本研究科の実績

- H16年度に看護学科を設立後、前期・後期博士課程を続けて開設し、人事組織改革を展開
- 看護職を近畿圏の医療機関等に着実に輩出し、地域密着型の実用性の高い研究や活動を展開

## ➤ 看護学領域の特徴

- 急激に大学教育化しており、教育研究者の需要大
- 女子の大学進学や女性教員の雇用を促進
- 「ヒトづくり」→適度な大きさの教育規模が効果的

看護学は住民の健康改善に直接効果をもたらす実学



公立大学のミッション